

総合振興計画・定住自立圏共生ビジョン・総合戦略
審議会委員からのご意見及び浜田市の考え方

No	ご意見の概要	浜田市の考え方
総合振興計画		
1	<p>貴市役所内の女性の管理職も目標数を作 ってほしい。</p>	<p>浜田市では、組織全体で継続的に女性職 員の活躍を推進するため、浜田市特定事業 主行動計画を定め、本計画内で管理職に占 める女性割合の目標を掲げ毎年度進捗状 況を公表しています。引き続き本計画内で 目標・進捗管理を行う予定としております ので、総合振興計画への項目追加等は考 えておりません。(総務部)</p>
2	<p>現在浜田市では、令和 3 年度にまちづく りと公民館のコミュニティセンター化を進 めているが、市内や私たちの住んでいる周 布地区では、まちづくりを作らなくてもい いとの声が多いです。</p> <p>以前町内会長をしているときは、町内の 活動実績により市に申請していましたが、 今は、申請しなくても一律に交付金が出 ており、市のためにまちづくりを立ち上げ る必要はないとの声が多いです。</p> <p>この一律交付金をなくし従来どおりの申 請制度にしなければ、まちづくりは進ま ないと思います。</p>	<p>地区まちづくり推進委員会を設立する と地区まちづくり推進委員会が一括して まちづくり総合交付金を申請するため、そ の構成団体である各町内会は、市に対し て個別に申請をする必要がなくなります。</p> <p>これによって、手続きが簡素化され、町 内会長等の負担が軽減されるとともに、各 町内会への助成（配分）額を含めて交付金 の運用を地域が自ら決定することで、主体 性の醸成が図られるものと考えておりま す。</p> <p>浜田自治区における地区まちづくり推 進委員会の設立に向けては、これらのメリ ットに加え、設立の意義や必要性を丁寧に 説明するとともに、まちづくり総合交付金 の効果的な活用方法等も周知しながら、引 き続き設立を促進してまいります。(地域 政策部)</p>
3	<p>若い人の魅力あるものが少ない市内に残 っている人が魅力を発信するものがない。</p>	<p>総合戦略において、若者が暮らしやすい まちづくりを目指した施策を展開し、浜田 市の魅力創出を図りたいと考えています。 (地域政策部)</p>
4	<p>地域コミュニティについて、浜田自治区 の力不足は否めませんがメリット、デメリ ットが理解できていない。今の状況を、変 えなくてもまちづくりのお金は入ってくる ので活動はできる。この状況を変えなくて は、難しいのでは。</p>	<p>浜田自治区における地区まちづくり推 進委員会の設立に向けては、設立のメリッ ト等に加え、意義や必要性を丁寧に説明す る必要があると考えます。</p> <p>また、まちづくり総合交付金について は、地区まちづくり推進委員会等のまちづ くり活動がより一層推進されるための制 度となるよう、引き続き検証してまいりま す。(地域政策部)</p>

5	<p>男女共同参画は、女性の意識向上を高めなくては、家庭における男性の、女性に対する理解も必要かと。</p>	<p>家庭において、男女が共に協力し合い、家事・育児・介護を共に担うという意識を高める必要があります。また、性別による役割分担意識にとらわれず、個性と能力を發揮できるように意識改革を共に行う必要があると考えます。</p> <p>行動や慣習の中に残る固定観念にとらわれず、多様な生き方を選択できる社会の実現をめざし、引き続き啓発活動や情報提供を進めてまいります。(地域政策部)</p>
6	<p>他の委員さんからも意見がでたようにUターンとIターンの数は分けて記載してもらった方がいいと思う。それぞれのアプローチの違いもあるので。コロナ後の生活様式の変化で、これからはチャンスがあると思うので、浜田を選んでもらう理由を明確にした多様な施策で、力を入れて頂きたいと思う。</p>	<p>各種支援制度を通じて把握した数について、Iターン者数を内書きで表示する形に見直しました。UIターン者については相談することなく移住されるケースが多いため、実際にUIターンされた人数とは異なりますが、後期基本計画では、UIターン者数の計上の方法について検討してまいります。</p> <p>なお、新しい生活様式に変化する中、UIターン者の別にかかわらず、仕事や住まい、子育てなど、移住検討者のニーズに沿った情報の提供ができるよう、引き続き定住相談員を中心として相談業務を丁寧に行い、移住推進に努めてまいります。(地域政策部)</p>
7	<p>開かれた行財政運営の推進の2「外部委員による総合推進計画の進捗状況の確認・評価回数の増加」について、「1回」で「100%」で「目標達成」とは、如何なものか？</p>	<p>開かれた行政運営の指標として、市の最上位計画である総合振興計画の外部委員による進捗状況の確認・評価の回数を目標値としていますが、委員ご指摘のとおり、その他の市民の参画についても推進しなければなりません。</p> <p>来年度からは「協働のまちづくり推進条例」が施行され、これまで以上に開かれた行政運営が求められることから、後期基本計画では、KPIの設定について見直しを検討します。(地域政策部)</p>
8	<p>健康寿命の延伸について、2019年の目標達成率がコロナの影響でデータが遅れているとの事、浜田市独自では出せないのでしょうか。</p>	<p>市単位の平均寿命や平均自立期間の数値は、どのデータをもとにしてどのような計算で算出するのかを市では把握しておりませんので、浜田市が独自で算出することは困難です。(健康福祉部)</p>
9	<p>病児保育の利用者増の目標施策があればいいのだが。</p>	<p>病児保育の目標事業量は、総合振興計画の下部計画である子ども・子育て支援事業計画に定めています。子どもが病気の際は、まずは親が看ることが大切であり、どうしても親が看られない場合に病児保育事業の活用があると考えておりますので、積極的な利用者増に向けた施策は想定しておりません。(健康福祉部)</p>

10	<p>認可保育所定員数の増加と放課後児童クラブ定員数の増加のところは、待機児童がいるのかどうかの判断ができないため、そのへんの数字も入れた上での判断が必要だと思う。</p>	<p>認可保育所及び放課後児童クラブ共に、待機児童はいませんが、いわゆる潜在的待機児童がいる状態です。この潜在的待機児童対策として定員数の増加を行っているところですが、潜在的待機児童が何人いるのかという数値の把握は困難であると考えています。(健康福祉部)</p>
11	<p>はまチャレの件、提出用紙が前年度に比べて取組人数が少ないとの回答でしたが、商品券の当たる確率が少ないことから、提出が少ないのではないのでしょうか？1カ月間の記入も面倒との声も聞こえる。金額を少なくして該当者を増やしてはどうでしょうか。健康に意識的にチャレンジしている市民は多いはずです。</p>	<p>事業の開始前に、商品券の金額や当選者の人数などについて様々な所で検討を行いました。いただいたご意見のような声もありましたが、あまり少ない金額では取組む気持ちにならないという意見もあり、現在の金額と当選者数に決まりました。今後も、市民の皆様の声を聞き検討を重ねていくことは必要と考えております。</p> <p>今後の取組としては、グループエントリーなどの方法で参加者を増やしていきたいと考えています。(健康福祉部)</p>
12	<p>生ごみの削減に向けて、水切りだけではなく、食品廃棄物も多いので一人ひとりが食品ロスを考えることの推進が必要だと思う。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、一人一人が食品ロスを考えることは重要であると考えます。現在策定中の第3次ごみ処理基本計画でも、このことについては触れており引き続き広報はまだ、浜田市HPなどで周知を図っていきたいと考えております。(市民生活部)</p>
13	<p>可燃物の枠が広がったことで資源ごみも可燃に入っているのではないかとこの資源ごみが何に変化するのかも市民に分かってもらい、意識付けも必要と思う。</p>	<p>委員ご指摘の点につきましては、担当課としても憂慮しているところです。改めて、ごみ分別の徹底など市民の意識づけに努めたいと考えています。(市民生活部)</p>
14	<p>可燃ごみの排出量が多いのは出し方にあるような気がします。プラなどを可燃に入れます。また資源の缶などは、公民館などに持ち込みます。でも高齢者さんはこの出し方を喜んでおられます。</p>	<p>廃プラスチックを燃やせるごみに変更した背景には、今後増加する見込みの高齢者に配慮した面もあります。可燃ごみを減らすためには、ごみ分別の徹底などにより資源となるものを燃やせるごみにしないような周知が大切であると考えています。(市民生活部)</p>
15	<p>高度衛生管理荷捌所の利用状況がどのように進んでいるのですか。</p>	<p>まき網漁業の漁獲物を取り扱う7号荷捌所が令和2年4月に竣工し、8月から供用を開始しています。沖合底びき網漁業の漁獲物を取り扱う4号荷捌所は、現地での建て替えに向け既存施設の解体工事に着手しています。建設工事は令和3年度中に着工、令和5年度当初の供用開始を予定しています。(産業経済部)</p>
16	<p>新規立地企業数の増加について、今後の取り組みについて、オファーする企業の優先順位が分かるように記載を希望です。ソフト産業(IT企業等)＞大規模一次産業事業者＞食料品等の製造業。他県との往来が見込めるサテライトオフィスやコワーキングスペースなども有用に思います。</p>	<p>企業誘致の優先順位については、新規雇用数や将来性等もあり、一概に順位付けは難しい面もありますが、分野を絞り戦略的に誘致することは重要であり、次期計画で検討いたします。(産業経済部)</p>

17	<p>宿泊客数の増加について、浜田市は業務渡航（出張）での滞在が多い地域なので、そちらの推進と、観光による誘客推進は分けて今後の取り組みを検討することを希望します。</p>	<p>ご指摘いただきましたとおり、季節での変動はありますが、浜田駅周辺のホテルの利用目的の約8割は、ビジネスとなっております。一方、金城や旭の温泉旅館や周辺の宿泊施設では、8割以上の方が観光目的で宿泊されております。</p> <p>こうした実態を踏まえ、次期計画を策定する際には、いただいたご意見を参考に検討させていただきます。（産業経済部）</p>
18	<p>観光交流の推進について、会議で指摘がありました。加盟店・協賛店との意見交換や多面的な連携をすでに実施されておられるので、そのことも記載いただけたらと思いました。邑南町との食の連携も継続展開されていることも委員の皆様にご知っていただけると良かったと感じました。</p>	<p>加盟店・協賛店との意見交換につきましては、年1～2回程度、ワーキング会議を実施し、加盟店の要望や事業の現状、進め方を確認しています。将来的には、加盟店主体の事業に移行していけるように、まずは核となる加盟店を選出し進めていく予定です。</p> <p>また、平成27年から実施している邑南町との食の連携事業につきましては、令和元年度は、「はまごち・A級グルメフェア2019」と銘打ちはまごち加盟店12店舗と邑南町14店舗の飲食店に参加いただきスタンプラリーを実施しました。89名の応募（重複応募あり）があり、37名に再訪型商品をプレゼントしました。</p> <p>引き続き、交流を図りつつ、市民の皆さまにも取り組みを知っていただけるよう努めます。</p> <p>その他、島根県立大学の田中ゼミにて「TANAGOCHI」という冊子が発行されました。浜田市、邑南町の飲食店をテーマごとに紹介するものです。こうした取り組みも参考とさせていただき、本市の食の魅力を発信してまいります。（産業経済部）</p>
19	<p>合宿等誘致人数の増加について、これまでのように教育分野での合宿誘致はもとより、企業研修合宿も視野に入れた取り組みを期待します。</p>	<p>合宿等誘致事業補助金では、これまでも企業研修合宿も活用いただいております。利用企業へのリピーター対策を行っているところですが、新規利用の獲得までには至っていないのが現状です。</p> <p>引き続き、浜田市広島事務所・PRセンターとも連携し、企業利用が図られるよう、大学及び企業等へのPRに努めてまいります。（産業経済部）</p>
20	<p>新規学卒地元就職者数の増加について、地元企業への就職以外に、地元に住居し他県の仕事を行うことも含めて良いと考えます。コロナの影響で多用な形態が今後増えることが見込まれます。</p>	<p>既に新型コロナウイルス感染症の影響により多様な働き方が、次々と試行されており、次期計画では、このような新しい働き方を踏まえた目標を検討いたします。（産業経済部）</p>

21	<p>新商品の開発件数の増加について、本来新商品開発は企業が主体でやるものであって、年間の件数を設定してやるものとは違うような気がする。新商品の件数ではなく、企業の新たな挑戦を支援していただきたい。もちろん新商品開発も含めて、既存の商品のブラッシュアップ等も必要だと思う。</p>	<p>ご指摘いただきましたとおり、新商品の開発は事業者が主体的に行うものであり、市としては事業者の積極的な取り組みを支援することが必要と考えます。既存商品のブラッシュアップ支援も含め、商工団体と連携した支援に努めてまいります。計画の指標につきましては、次期計画で検討いたします。(産業経済部)</p>
22	<p>浜田の五地想ものがたりについては、もともとの趣旨はおもてなしの心で観光客をお迎えする事だったと思う。観光客に分かりやすくするためにツープライス料理を提供するという事で始めた事業だったが、最近加盟店も少なくなり、料理も3000円以下にする等、本来の趣旨とは違う形になってきた。もちろんいつまでも同じ形ではなく、実際の加盟店の意見等を聞き、改善していくことは必要だと思う。ただ、何のためにこの事業があるのかを明確にしてほしい。今は観光客も減少していると思うので、地元の人にもおもてなしの心で、なるべく地域のものを使った料理を提供する事が大事だと思う。また、加盟店を増やす方法は、何らかのメリットがあればいいのでは。例えば加盟店で使えるプレミアム商品券等を発行するとか。観光客だけでなく、もっと市民にも加盟店をPRするべきだと思う。</p>	<p>ご指摘いただきました、ツープライス料理の提供につきましては、加盟店や退会された飲食店の意見を踏まえ、3,000円以下のメニューに統一する改正を行いました。</p> <p>しかし、この事業の目的である地産地消とおもてなしの心でお客様(観光客)をお迎えすることについては、今までと変わりありません。</p> <p>市民の皆さまへの加盟店のPRにつきましては、現在、公式ホームページの運用を依頼している市内事業者と定期的に会議を開催し、ホームページの閲覧状況を分析するとともに、SNSを活用して市の内外を問わず加盟店の状況や取組みについて、広く情報発信しているところです。</p> <p>引き続き、観光客のみならず、市民の皆さまにもはまごち加盟店を利用させていただけるように努めてまいります。(産業経済部)</p>
23	<p>海・山がこんなに近くにあり環境が良いと思うのに、観光客が行くところがなかなかない。ゆうひパーク、旧お魚センターをもっと市民が盛り上げられたらいいかなと考えます。</p>	<p>ゆうひパーク三隅においては、令和3年4月から新指定管理者による運営を予定しており、指定管理者の創意工夫のある自主事業により集客を図るとともに、地元まちづくり委員会等と連携して盛り上げていきたいと考えております。</p> <p>旧しまねお魚センターは、山陰浜田港公設市場として令和3年3月のオープンに向けて準備を進めています。指定管理者をはじめ、仲買事業者、観光関連団体、市などで構成する推進団体を立ち上げて、賑わい創出に向けた集客企画等の検討を行っています。(産業経済部)</p>
24	<p>下位計画との整合性をとること。 例1)「高度衛生管理型荷捌所整備率の増加」の現状・目標値等欄に「5.0、10.0、23.5、54.0」とあるが、2020.3策定の「浜田漁港周辺エリア活性化計画」には「7.1、14.3、34.0、76.7」とある。 例2)「新規漁業研修者数の増加」 例3)「ヒラメ稚魚育成尾数の増加」 例4)「アワビ稚貝放流数の増加」 など</p>	<p>例1)の高度衛生管理型荷捌所整備率については、浜田漁港周辺エリア活性化計画の2018年の現状値に、総合戦略の目標達成率の数値を用いたため不整合となっています。整備率の実績に合わせ当活性化計画の2018年の現状値は23.5%とすべきでした。</p> <p>例2)新規漁業研修者数、例3)ヒラメ稚魚育成尾数、例4)アワビ稚貝放流数は、総合振興計画の2018年度の実績の数値としています。(産業経済部)</p>

25	<p>項目評価は「A」であるが、表題部の目標に既に変更が生じたものへの追加説明が必要ではないか。</p> <p>「沖合底曳網漁業リシップ事業取組統数の増加」では、2016に5ヶ統実施で100%「目標達成」となっているが、2019年に1業者が事業停止となり2船団4隻が減じている。この業者は2015年に事業実施をしているが、「地元の沖合底曳船に5ヶ統とまき網船2ヶ統の全船存続のため・・・」という目的に対する評価としては（相手があることとは言え）如何なものか。また、次項I-1-2「まき網漁業構造改革取組統数の増加」が目標年度を目前にしてなお評価「C」である理由はなにか？</p>	<p>沖合底びき網漁業については、策定当時の5ヶ統全船存続のためリシップ事業を支援しており、2016年度に5ヶ統全船が実施完了し目標を達成しました。その後、経営上の諸事情で事業停止となり、船団数が減少したことは、水産業の振興にあたって大きなマイナスですが、指標に対する評価としては「A」とします。まき網漁業については、運搬船の更新はされていますが、構造改革による代替船の確保に至っていないため「C」評価としています。引き続き漁業経営体の意向を伺いながら、構造改革の実施に向け検討を進めていきます。（産業経済部）</p>
26	<p>評価の変化に極めて乏しい例</p> <p>「漁港海岸長寿命化計画策定個所数の増加」に関し、「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 掲載目標の進捗状況」には2015年の記載があり「A」であったものが、以後「C」評価に変化がない。何か特殊な理由があるのか？</p>	<p>長寿命化計画については、業務委託による策定を検討していたが、必要な予算が確保できなかったこともあり、実現に至っていません。しかし、市直営での策定が可能となる作成支援ツールが県から提示されたので、今年度中に策定作業に取り組むこととしています。（産業経済部）</p>
27	<p>親子で利用できる公園の調査を行ってほしいし、なければ前向きに取り組んでいただきたい。</p>	<p>例えば、遊具のある公園ということであれば51公園あります。公園の広さやその他施設の有無は様々ですが、近隣の公園をぜひご利用ください。（都市建設部）</p>
28	<p>評価の基本となる数値が読み取りにくいので工夫を。</p> <p>例1) 学校給食での地域食材利用率の増加 例2) 地域課題の解決支援事業を実施する公民館数の増加 例3) 管路の耐震化率の増加 例4) 救急救命士の資格取得者数の増加 例5) 地区まちづくり推進委員会の組織率の増加 など</p>	<p>委員ご指摘の、読み取りにくい部分があるところのご指摘を踏まえ、後期基本計画の策定の際には、表記の方法について検討します。（事務局）</p>
定住自立圏共生ビジョン		
29	<p>定住自立について、推進を進めるのは、良いことでありますが、都会に出てゆく理由は、仕事がないのとか、賃金格差があり都会に出た友人から誘い等もあり出てゆくのではないかと思います。</p> <p>その前に、現在地元にいる若者に優遇措置をとる必要があると思います。</p> <p>そのことにより、U・Iターンを浜田から呼びかけることになりU・Iターンが推進されます。</p>	<p>Uターン者は、家族や友人に相談する人が多いと認識しております。ふるさと郷育や職場体験、また、地域で行われている公民館活動などを通じて、幼い頃から故郷への愛着や誇りをもつことが、将来地元に戻りたいという気持ちにつながるものと考えております。一方で、Iターン者については、定住相談員を中心に、移住検討者のニーズに沿った情報提供を丁寧に行い、移住推進に努めてまいります。（地域政策部）</p>
30	<p>個人的にはIターンで来られた方が、その後どのように生活しておられるかもタウン誌などで後追いして情報として流していただけると嬉しい。</p>	<p>Iターンだけでなく、Uターンも含めて、移住の経緯、移住後の生活の様子や感想についてインタビューし、「移住者の声」として浜田市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。（地域政策部）</p>

31	へき地医療への対策として、県全体が医師不足の中での対応は難しいかもしれないが、市民が安心して暮らすためにも必要な事なので、ランク付けが上がるように強く願いたい。	引き続き、県や大学との連携などから地域医療を志す医師の情報を収集し、アプローチを図るなど医師の確保に努めていきたい。(健康福祉部)
32	若い人たちの仕事(正社員)で入社しても2~3年するとやはり県外へ出てしまう人たちが現実が多い気がします。	委員ご指摘のとおり、若い人の県外への人口流出に歯止めがかからない状況が続いています。その状況を改善するため、転出・転入理由について、より詳細なアンケート調査等により、その理由を検証し、より有効な施策を検討したいと考えています。(事務局)
総合戦略		
33	公民館におけるふるさと郷育について、来年度のコミセン化に向けて、地域の子どもたちを含め一体となったふるさと郷育を願いたい。地域住民の交流も計ることができ、活性化に繋がると思う。	まちづくりセンターでは今まで公民館が行ってきた活動を引き継ぎ「地域で活躍する人を育てる社会教育及び生涯学習の推進」を行ってまいります。 その手法としてふるさと郷育を活用し、より多くの住民が参画できるような取り組みを目指してまいります。(教育部)
34	浜田市をより良く、住みやすい街にするため、コロナ禍を今利用することは良くないかもしれませんが、田舎に住もう安全第一の浜田市を呼びかけたらよいと思います。	本市への移住を検討される方に対して必要な情報が届くよう、ニーズに応じた情報発信について、その表現を含め検討してまいります。(地域政策部)
35	今後の取組、新たな生活様式に対応した取り組みについて、「ICT環境整備」よりも「デジタル化推進(DX推進)」が適切と考えます。	現在、市内全域のケーブルテレビ回線を光回線に改修中であり、「ICT環境」の基盤が整備されつつあります。今後は、ご意見のとおり「デジタル化推進(DX推進)」等の通信基盤を活用した取り組みが重要と考えます。(地域政策部)
36	高齢者の方の足の移動としての公共交通(バス・JR)。どうしてもタクシーだと金銭的な負担が多く浜田市の補助券だけでは苦しい方もおられるのでは。	70歳以上の高齢者の方を対象とした敬老福祉乗車券制度は、大変好評いただいている一方で、上限冊数の引上げを望む声も多くいただいています。 今後の制度見直しにあたっては、必要な方にしっかり行き届くよう、検討してまいります。(地域政策部)
37	進捗評価の「基本目標1」について ①「誤植」と思えるもの(「宿泊客数」2015実績 261,930→261,903) ②「達成率」で、「資料4」とは整合し、「資料2」とは不整合のもの(宿泊客数、新規学卒地元就職者数) ③「実績」で「資料4」と整合しないもの(企業立地優遇制度による雇用創出数)がある。	①委員ご指摘のとおり修正します。 ②総合戦略の基準年度は全ての項目で2014年度である中、総合振興計画の基準年度は項目ごとに異なっていることから、「資料4」の達成率とは整合し、「資料2」の達成率では不整合が生じる項目があります。 ③「資料4」では、単年度の雇用創出数を記載していますが、進捗評価では、目標値との比較ができるよう、累計人数を記載しています。(事務局)

その他		
38	<p>総合振興計画の進捗具合は、一定の催し物の開催頻度や参加者数だけでは正しい内容を捉えきれないと常々感じてきました。</p> <p>そこで一つの提案ですが、健康福祉・芸術文化・教養・スポーツの分野においては、市が運営するいくつもの施設（指定管理を含む）があり、市民はこれらの施設を横断的に利用することで、健康を増進するなり教養を高めるなりによる生活の豊かさを得ています。施設の利用者を対象としたアンケート調査を定期的に行ない、利用者の満足度を知ることで、市運営の施設がどれだけ上記の分野で役に立っているかを評価し、今後の改善点を見いだせると考えます。</p> <p>アンケートの実施は施設ごとに依頼すると取組の度合いに差が生じるので、どの施設に対しても使える汎用性の高い質問用紙を作成し、市庁舎ロビーに用意して回答してもらうことが考えられます。できれば回答内容の説明を自由記述してもらいます。</p> <p>さらにアンケートの作成と集計、あるいは必要に応じて少人数グループ（Focus Group）の聞き取り調査に県大生の協力を得れば、大学との共同研究として一石二鳥にもなります。</p>	<p>指定管理施設におきましては、指定管理者が施設ごとに利用者を対象としたアンケートを適宜実施し、管理運営に反映するよう努めています。指定管理施設を除く施設につきましても、利用者の満足度を管理運営に生かす仕組みは大切だと認識していますので、大学等との連携を含めて、そのあり方を研究してまいります。（総務部）</p>
39	<p>大学との共同研究も“役立っている”と皆様に認識していただける取組・発信が不足していると反省いたしました。</p>	<p>例年、共同研究の成果報告会を開催していますが、出席者の大部分は関係者が占めているのが現状です。</p> <p>今後、成果報告の発信の方法など、検討してまいります。（地域政策部）</p>
40	<p>「浜田市自治区設置条例」の期限は、令和3年3月31日とされており、去る9月議会で「浜田市協働のまちづくり推進条例」が可決され、来る12月議会で「浜田市まちづくりセンター条例（案）」が上程される見込みである。「資料2」P26 VII-1-1及び2の[今後の取組]で少し頭出しがしてある感もあるが、この総振にかかる評価にどのような変化が生ずるのか。</p>	<p>現在の前期基本計画では、協働のまちづくりに関する進捗を評価する項目は、「地区まちづくり推進委員会の組織率の増加」のみとなっており、進捗評価としての記載はありません。</p> <p>来年度、策定を進める後期基本計画では、協働のまちづくりについて、推進計画の策定を含め、進捗についても評価していくこととしています。（地域政策部）</p>
41	<p>2020年度については、コロナ禍で様々な分野で影響が出ると思われるが、特に市民の生命と暮らしを守る「健康福祉部門」の施策は着実に進めていただきたい。</p>	<p>いただいた意見を念頭におき、施策を実施してまいります。（健康福祉部）</p>

42	<p>石央文化ホールの利用について、自家用車は立体駐車場の駐車が可能であるが、バス（貸切）での利用については、昇降場所がありません。文化ホール前は無理としても、裏側にでも区画を設けていただくと、もっと増加すると思います。</p>	<p>石央文化ホールを貸切バス等ご利用の皆様におかれましては、浜田駅北一般車乗降場所や東公園駐車場等にて乗降を行っていただいております、ご不便をおかけして誠に申し訳ありません。</p> <p>新たにバスの駐・停車場を設置することは現状そのような土地がないため困難ではありますが、事前に石央文化ホールにバスの利用に係るご相談を頂ければ、ホール裏側搬入口横のスペースを乗降場所としてご提供します。（教育部）</p>
43	<p>2019年度実績値の達成率をみると、目標値の上方修正や目標達成など、進捗効果が伺える項目も多数あり、現時点における努力を評価するとともに、さらに推進されることを期待します。</p>	<p>進捗が進んでいる状況ではありますが、その結果が出生率や社会増減に反映されていないのが実情です。より効果的な施策が実行できるよう、後期基本計画の策定に向けて取り組んでいきたいと考えています。（事務局）</p>
44	<p>D評価項目（6項目）については、関係機関との調整が必要なことや、自然環境の変化による影響、休止中の事業など特殊要因もあり、現時点では止むを得ない状況と理解しています。</p>	<p>自然環境や新型コロナウイルスにより評価の下がった項目については、新たな生活様式等を踏まえ、変化に対応できる取組を検討します。（事務局）</p>
45	<p>市の発展のために、3つもの計画がなぜあるのか（しかも多くの項目は重複しています）を、新しい審議会の委員の方は不思議に思っておられるのではないかと思います。（この審議会が招集された当初は市長提案のロードマップもありました。）事務局の煩雑な事務作業を削り、私たちの頭を整理するためにも、近い将来これらをまとめて一本化することはできますか。</p>	<p>3つの計画は全て計画期間の終期を令和3年度までとしており、来年度からは、総合振興計画後期基本計画の策定に着手します。</p> <p>その際は、これらの計画を一つにまとめた計画として策定することを予定しています。（事務局）</p>
46	<p>「総合戦略」では、過去5年間を振り返っての評価が記されていて、大変参考になりました。100を超える項目すべてで同じような振り返りをするのは難しいでしょうが、重要項目については、前年のみならず、過去数年の足取りを振り返っていただければ有意義な考察になります。</p>	<p>現計画が、来年度で終了しますので、その際には、今回のような過去に遡った検証についてもお示ししていきたいと考えています。（事務局）</p>
47	<p>総合振興計画の進捗評価は、前年度の進捗状況の評価するものですが、文中で昨年度となっている年度は、本年度からすると、すでに「一昨年度」になります。混乱を回避するため、「前年度」とする方がよいと思われます。関連して、総合戦略の進捗評価（4）今後の取組にみられる「来年度」は、「本年度」なのかもしれません。</p>	<p>ご指摘のとおり修正します。（事務局）</p>
48	<p>総合振興計画の進捗評価について、行送りの幅が不統一です。</p>	<p>ご指摘のとおり修正します。（事務局）</p>
49	<p>「人口」・「出生数」・「社会増減数」の中黒点は不要です。</p>	<p>ご指摘のとおり修正します。（事務局）</p>

50	<p>総合振興計画の進捗評価、P1 の下から 2 行目「そんな中でも」という表現は話ことばと思われる。また、「転出理由では「就職」が最も多く」という記述については、「……によると」という限定が必要と思われます。</p>	<p>ご指摘のとおり修正します。(事務局)</p>
51	<p>総合振興計画の進捗評価 P2 の 5 行目にある「考え」の主語は何でしょうか。</p>	<p>主語である「浜田市では、」を追記します。(事務局)</p>
52	<p>総合戦略の進捗評価について、達成率についての表がずっと理解できないところがある。</p>	<p>より理解が深まるよう、グラフを追加しました。(事務局)</p>
53	<p>全体的に数値だけではわかりにくいと思う。目標数値がどのように設定されたか、(例えば全体数の何パーセントを目指すとか) その目標に向けて今年度増えた数字や減った数字だけで評価するのではなく、効果のあったことや課題を具体的に示してもらった方が分かりやすいと思う。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、目標数値は数字だけの標記では分かりにくいところがあることから、後期基本計画の策定の際は、目標値の概要が分かるような進捗管理表の様式を検討します。(事務局)</p>
54	<p>数値目標だけでなく、それぞれの部門に分かりやすいサブタイトルを付けてその為の最も重要な施策をピックアップして市民にもアピールしたらいいのではないかと。 例) 水産業の振興(水産浜田の活気を取り戻す) 農林業の振興(持続可能な農業で自然環境を守る) 商工業の振興(浜田で起業・企業の新たな挑戦を支援します) 観光・交流の推進(ようこそはまだ運動) 企業立地による雇用の推進(浜田で働こう)</p>	<p>委員ご指摘のとおり、これらの計画について、市民へのアピールも必要と考えます。 後期基本計画では、サブタイトルの記載などを含めて、記載方法についても検討させていただきます。(事務局)</p>
55	<p>人口推移(資料 5)について、特に「出生数」が直近 4 年間は 400 人以下が続いており、将来の浜田市を支える人口を維持するため、これまで以上に抜本的な施策が必要と感じています。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、人口減少を抑えるためには、抜本的な施策が必要と考えます。その第一歩として、結婚から子育てまで、それぞれのケースを想定した支援策を展開していくこととしています。(事務局)</p>
56	<p>人口減少問題は日本全体が直面している社会問題で、U・I ターン者を他地域から呼び込もうとする努力も各自治体が人の取り合いをしているわけで、おのずと限界があるように思われます。(その努力が無駄であると言っているのではありません。子どもを産み育てやすくする環境を整えて出産・育児への支援策を強化することも、それ自体は大変重要です。)究極の目標は、人口が少なくなっても、住民が幸せに、元気で、いきいきとして生活できる町を作るにはどうしたらよいかという視点を失わないようにしたいものです。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、人口減少問題は浜田市だけの問題ではなく、総合戦略の人口推計が示しているように、人口を増加させることは難しい状況です。 浜田市では、来年 4 月から、浜田市協働のまちづくり推進条例を施行し、人口が減少していく中、「みんなが笑顔で暮らせるまち」を未来に残すため、市民の皆さんと一緒にまちづくりに取り組むこととしており、総合振興計画後期基本計画においても、この視点を踏まえた計画となるよう策定を進めます。(事務局)</p>

57	<p>進捗評価をアップする方法。なぜ「C」「D」になったのか、市民を巻き込んで考えることが必要ではないでしょうか。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、進捗が進まない理由、その解決策について、市民を巻き込んだ協働の考えのもと、検証することが必要な項目もあると考えます。各項目の担当部署において、その手法について検討してまいります。(事務局)</p>
58	<p>今回から初めて審議会委員になり、資料に目を通して感じたことは、これだけ多くの政策・施策があるということを実感した。しかし、そのすべてを把握することは難しい。私たち市民一人一人が地域課題を自分事として考え解決にむけて行政と一緒に協働できればいいと思うし、それぞれの立場の市民の声を生かした施策、その施策が必要な人に届くような PR を考えて頂きたい。</p> <p>自分から市のホームページを調べる人は少ないと思う。テーマごとに分かりやすく PR する方法があればいいと思う。</p>	<p>浜田市では、来年4月から、浜田市協働のまちづくり推進条例を施行し、市民の皆さんと一緒にまちづくりに取り組むこととしています。</p> <p>そんな中、総合振興計画後期基本計画の策定においても、市民の声を活かした施策にも取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、そのPR方法についても、委員のご意見を踏まえ、検討してまいります。(事務局)</p>
後期基本計画について		
<p>○全体向けの意見 全ての要素にデジタル推進（DX推進）の進捗状況が把握できる指標を希望します。総合振興計画のKPI管理&公表をデジタル化して事務を楽にすることも含めご検討ください。</p> <p>可能な限り進捗状況が把握できるようなKPI設定を希望します。</p> <p>※分母（最終KPI目標値）が10以上</p> <p>○産業経済部門 市場規模（金額）が把握できるKPI設定を希望します。</p> <p>○教育文化部門 キャリア教育の浸透度を図るKPI設定を希望します。</p> <p>○生活基盤部門 デジタル推進（DX推進）の全体進捗が把握できる指標を希望します。</p> <p>○地域振興部門 大学との共同研究の活用事例の指標を希望します。</p> <p>○総合戦略 居住人口と同じレベル感で関係人口の目標設定を希望します。 関係人口の人数・関係性（エンゲージメント）・経済効果等を図る指標を希望します。</p>		